

緩和ケアのご案内

「緩和ケア」とはがん患者さんの体や心のつらさを和らげる医療です。

がんを病気として捉えるだけでなく、「患者さんらしさ」を大切にし、
生活の質をより良いものにするための治療やケアを提供します。

当院ではさまざまな職種のスタッフからなる緩和ケアチームを設け、患者様の診療やご家族への支援を行っています。

がんと診断された方は、病気の進行度に関わらず、どのような段階でも緩和ケアを受けることができます。

<緩和ケアの対象となる方>



現在、他科や他の病院でがんの治療を続けておられる方も、主治医の治療と並行して緩和ケアを受けて頂くことが可能です。

緩和ケアは体の症状だけでなく、がんに伴う様々な問題を対象にしています。

<u>・体の症状</u>	<u>・心の状態</u>	<u>・社会的問題</u>
痛み、しびれ 吐き気、嘔吐、食欲不振 腹部膨満、便秘、下痢 呼吸困難 むくみ 倦怠感 脱毛 など	不安感 気分の落ち込み 絶望感 イライラ 不眠 認知障害 など	人間関係 家族関係 仕事への影響 医療費の問題 療養場所 など

<緩和ケアチームについて>



当院の緩和ケアチームは様々な職種のスタッフで構成されています。ご本人・ご家族様のご希望を踏まえ、チームで協議しながら治療を進めていきます。



医師	症状緩和のための内科的治療を中心にを行います。治療の内容については、患者様・ご家族様のご意向をまず第一に優先し、よく相談しながら進めて参ります。
看護師	患者様のそばに常に寄り添うのが看護師です。ご本人やご家族から体や心の辛さを直接伺い、痛みのコントロールからグリーフケアまで、幅広くケア全般を行います。
薬剤師	個々の患者様に合わせた鎮痛薬や補助薬の提案、投与量の調節、副作用を評価し、安全で効果的な治療が受けられるように薬学的見地からサポートしていきます。
栄養士	食欲不振の改善や、食に伴う苦痛軽減に向けて、栄養補給法やきめ細やかな栄養・食事ケアを支援させていただきます。また、できる限り患者様とご家族様のご希望に沿ったお食事を提供致します。
リハビリテーション（理学療法士、作業療法士、言語療法士）	患者様個々のご希望にできるだけ配慮して、リハビリテーションを提供しています。身体の機能回復や維持だけではなく、患者様の価値観や希望を踏まえて、共に寄り添っていけるような緩和リハビリテーションを目指しています。
ケースワーカー	自宅療養や外出・外泊をされる際、安心して過ごせますよう、介護サービス等の提案・調整を致します。また、治療費など、経済的な問題についてもご相談頂けます。
地域連携室	他の病院やクリニックとの連絡・調整を担当します。ご紹介頂いた患者様はスムーズにご案内出来るよう努めております。病院・クリニックよりご紹介頂く際は地域連携室直通（tel: 04-7159-5133, fax: 04-7159-5139）へご連絡下さい。

<入院について>



外来通院が難しい場合は随時ご入院が可能です。夜間や休日に急に具合が悪くなられた場合でも対応致します。

<ご自宅で緩和ケアを希望される場合>



がん在宅緩和ケアを行っている近隣のクリニックや訪問看護ステーションと協力し、ご自宅で療養して頂ける環境を整えます。

<がんによる腹水でお困りの方>



当院では、腹水が多量に溜まっている方に対し、腹水を抜き取って、濃縮してから血管内に戻す「[腹水濾過濃縮再静注法 \(CART\)](#)」を行っています。おなかの圧迫や張りを軽減する効果があります。

<受診の仕方>



初診の方は月曜または木曜の午前中（9～12時）に内科外来へお越し下さい。現在、ほかの病院を受診中の方は、可能であれば紹介状をご持参ください。紹介受診の方は予約をお取り頂くこともできます。

病院・クリニックから当院へご紹介頂く場合は、当院地域連携室（tel：04-7159-5133，fax：04-7159-5139）へご連絡下さい。

<担当医紹介>



西村 英士 (にしむら えいじ) 内科医長

東京大学、京都大学大学院博士課程卒
国立がん研究センター研究所、国立国際医療研究センター病院、
島根県立中央病院、京都大学医学部附属病院、
ロンドン大学キングス・カレッジ病院を経て現職。

資格：医学博士、日本外科学会専門医、日本移植学会認定医、
マンモグラフィー読影認定医

